

JAXA の河内山理事が第 1 回定例会議で報告した時と同じ資料《資料 2-2-1(LNG 進捗状況)》を 6 分程掛けて説明した後に、事務局が資料 2-2-2(評価実施要領)を 3 分で説明し、その後 7 分程の質疑応答があった。(昨年の中間評価でブーストポンプ・アブレータ方式の燃焼試験で圧力変動が発生し、開発計画の見直しが指示された。一年間再生冷却・ターボポンプ方式と、ブーストポンプ・アブレータ方式を並行して開発し、試験して来て、一定の成果が得られた。また、開発計画において、試験機一号機のシステム設計と一段ロケットについて、JAXA が開発主体になって進めるように変更するよう、民間から要求があった。これ等の点について、小委員会を編成して 5 月を目処に審議を行なう。)

青江部会長:今説明があったような事情を踏まえまして、新たにと言いましょか、今般宇宙開発委員会の下で、ムニャムニャに関しまして評価を行うという風な事であります。で、此の評価を推進部会の下で行う訳で御座いますけれども、かなり込み入って居る、かなり詰めて検討して頂くんだらう¹なって云う風な事もありまして、この推進部会の下に特別の小委員会を設けまして、詰めて頂くと言う風な事でもちまして、レジメのムニャムニャして、詰めて頂いた上で此の推進

¹ どうもはっきりした事を言うのを避けている感じがした。小委員会の主査が池上委員であって、其の進行を誘導しない配慮かも知れないし、本当に込み入って表現に苦しんでいるのかも知れない。

部会に上げて頂くと言う風なやり方で、ムニャムニャ云う訳で御座います。ご意見ご質問等御座いましたら宜しくお願い申し上げます。

澤岡:資料の推進 2-2-1 の進捗状況について、4 頁の下から 3 行目(「今後の進め方について」の箇条書き第 2 項の最後)なのですが、「新たに JAXA が実施する開発内容についても、」と云う「新たに」なのですが、これは、過去の推進部会の中に出て来なかった、新しい事も出て来ると云う風に考えて宜しいんで御座いますか。

青江部会長:左様で御座います。だからこそ、今般、過去謂わば宿題となって居った技術的な課題、此れをこう云う風な方向でもって行ったら如何でしょうかって云う事は此の推進部会で以って、所謂、技術開発の方向につきましては審議をした訳ですね。で、其れを受けて開発を進めて居って此の事、其れがどう進捗をしたかと言う事の他に、今先生が言われた「民間からの新たな要望」此れを踏まえて JAXA が実施するとすればこう云う仕事が JAXA に有ります、其の仕事、此れを一体的にご評価を頂く必要があるんじゃないかと云う事だと云う風に思っております。

森尾:新たなムニャムニャ求められての開発内容。コウクツ(?)と関係したり、

青江部会長:今のはですね、澤岡先生は「新たに JAXA が実施する開発内容」と云うのはもう GIVEN かと云うご主旨で御座いますか。

澤岡:はい。

青江部会長: 其れは GIVEN では無いと思います。あの一、民間サイドからご要望が御座いました。其れを JAXA が受けて立つとすれば、この様なお仕事の中身になると思います。此れを JAXA が実施することの、まあ、等と云う事につきましてのご議論を頂こうと云う風な事だと思います。

鈴木: そうしますと、前は LNG の推進系だけの評価だったんですけど、今回は GX ロケット全体としての評価と云う事になる訳ですか。

青江部課長: 今の進展だと、表現方法は必ずしも詳しくは無いと思うんです。GX ロケットを俎上に載せて評価すると云う事ではなくって、民間サイドから国側にこう云う風な事をして下さいと云う事が求められた。其れは JAXA に求められている訳で御座います。で、其れが JAXA が此の仕事を受けて立つとすればこう云う仕事になる。此れを評価をするわけで御座います。それから、実質的に、今鈴木さんの仰るような、中身を持つ可能性は多分にある。そう云う事だろうと思います。何か有りますか、良いですか。

鈴木: 前にターボポンプ式の話が、かなり前回では出てきたんですけど、其の評価、其の進捗状況と今後どちらに進むべきだとか、其の辺りの議論も含まれると云う。

JAXA 河内山: あの、当然、先ほども報告致しましたが、アブレータ方式、それから再生冷却方式、両方式についてキチッと報告致します。

水野: 非常に此れ難しいと云うか問題だと思うんですけども、どの様に質問したら良いのか的確で無い表現有るかも知れま

せんが、要は、此れは GX ロケット側からの要望に基づいて、JAXA がこう云った事をやって良いかって云う事を此の小委員会で確認すると云う説明になってましたけど、片や JAXA の推進系の出口の一つとして、此の JAXA ロケット、まあ、タイハン(?)と云うのが有るかも知れない、GX ロケットとしてね。其れも有る訳ですね。ですからそこら辺、どう言ったら良いんでしょうか、或る意味車の両輪で進めて行く訳ですから、是非 GX ロケットが出来たんだからやってやるよと云う様な事では無くてですね。所謂、古くは固体ロケットどう使つてと云う話から始まって、色々有る訳なので、そこら辺 2 者で上手くやって、民間のロケット企業を育てると云うのが視点で、ご検討頂ければなと。具体的な質問では無いんですけども、GX 側からの要望で出したらどうすると云う、そう云った視点だけでは無くて、ムニャムニャ一番ハッピーなのかと云う様な事も含めてご議論いただければと云う様な。まあ、お願い。

青江部会長: はい。と云う事で以ちまして、この実施要領に従いまして、評価を進めさせて頂きたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。